

諏訪町ゆっと

発行日

平成24年7月吉日 第7号

発行

『諏訪町ゆっと』運営委員会

【諏訪町ゆっと地区活動の展開】

地域の方々のご尽力と関係機関のご支援により誕生した高齢者あんしん見守りネットワーク「諏訪町ゆっと」は本年4月、満2歳を迎えました。この間にゆっとの会員は120名を超えるまでに成長し、地域にあんしんの輪が着実に広がってきていると感じられるようになりました。

そして今年度からは第二段階の活動として、地域各団体を通しての従来展開に加え、新たに地区に根ざした活動を展開することとなりました。

この地区展開の狙いはゆっと会員間はもとより隣近所にお住まいの住人が相互にコミュニケーションの機会を増やし、ひいては見守りネットワークの更なる強化につなげようというものです。

そこで諏訪町エリアを各自治会(但し諏訪町自治会は区)を単位地区として区分化し、地区ごとの活動展開をめざすこととなり手始めとして現在、ゆっと会員顔合わせ地区交流会の開催を進めております。

交流会では地区会員間の親睦交流、見守りについての情報交換、ゆっとのPRや会員増強策、地区の福祉課題等いろいろな内容で展開されております。なかでも「災害時の安否確認」「ゆっとの認知度を高めるための方法」等については様々なアイデアが出されています。今後の地区展開の状況については本広報紙等で紹介をしていく予定ですが、地区活動へ多くの方々の参加が望まれます。



【介護予防大作戦報告】

去る、6月3日福祉センターに於いて「2012 介護予防大作戦in東村山」諏訪町地域開催が行われました。当日は、「細野歯科医院 細野先生による口腔ケアに関する講演・実技」、「古賀接骨院 古賀先生による筋力補強とトレーニング」、「諏訪町第一、第二寿会の皆様によるコーラス」他、おたっしゃ21健診等盛りだくさんのプログラムで、あいにくの天気にも拘らず多くの皆様にご参加いただきました。



11月15日には中央公民館で中央大会が開催されますが、一人一人が日々の生活で、適度な運動や栄養のバランスが良い食事を摂ること等、介護が必要にならないための努力を続けること(介護予防)の必要性を改めて認識した良い機会となりました。

【諏訪町よもやま話し その1 「西宿」】

「新編武蔵風土記」に野口村の小名として出てきます。

鎌倉道の宿場「久米川宿」(久目河宿とも)の西側(1、2丁目付近)に広がる地域を「西宿」と名付けられたと思われます。今では「西宿通り」「西宿はやし」としてその名を伝えています。なお、久米川町には、上宿、新宿という小名がありました。(東村山市郷土研究会誌より)

【雑感】 みなさんは、6月25日にNHKで放映された、プロフェッショナル仕事の流儀「闘う介護、覚悟の現場 介護福祉士 和田行男」をご覧になりましたか？内容は、開設から間もない認知症グループホームで職員の指導に当たる和田行男さん(介護の世界では結構有名な方です。)の、入居者との交流を描いたものでした。

一般的なグループホームでは、徘徊のある入居者が外に出て事故が起きないように、施錠しているところが大半です。しかしこの施設ではあえて昼間施錠していません。実際、放映の中でも外に出てしまう方が数人いらっしゃいました。

それでも施錠はしたくない、和田さんは言いました、「人間って何が素敵って、自分の意志を行動に移せるってことってどれだけ素敵か、その人間にとって一番素敵なことを奪ったらあかん。出来るだけそのことを守る、守り手にならなあかんと思っている。」と。

方法論は、賛否あると思いますが、強い信念を持って高齢者の介護に携わる和田さんの姿に感動を覚えました。[鈴木]



【トピックス】 まだ梅雨の最中ですが、暑い日が多くなってきましたね。先日新聞を読んでいたら、熱中症に関する記事が出ていました。

熱中症というと昼間炎天下で長時間活動した時などに起きると思っていたのですが、高齢者の場合、夜間に起きることが多いそうです。昼間の熱気が家の中に残っていて、寝ているうちに身体の水分が蒸発して脱水状態になると。

節電が叫ばれる折、扇風機もエアコンも我慢という方もいらっしゃると思いますが、油断は禁物です。熱中症患者のおよそ半数は高齢者です。こまめな水分・塩分の補給、室温のコントロール(熱いと思ったらエアコン等の利用を)を行い、暑い夏を乗り切っていきましょう。



【編集後記】 先日、諏訪町で行われているサロンに参加をさせていただきました。これまでも何回か他のサロンに参加したことはあったのですが、そこは今までとはちょっと様子が違っていました。高齢の方だけではなく、若いお父さん・お母さん、そして子供たちと、様々な世代の方々が手作りのおにぎりなどを頬張りながら楽しそうにお話をしていたのです。世代を超えた地域住民のつながり、まさにゆっとの目指すところでもあります。今後、地区活動がさらに活発になり、いろいろな世代の方がゆっと会員として活動して頂けるよう頑張っていきたいと思っております。[鈴木]